

相模原商工会議所 景気観測調査結果 (令和8年1月～3月)

全般的にゆるやかに改善が進み、コロナの令和4年の景気回復の水準まで、景況が戻ってきています。業種による差は縮まり、天気図では全業種が「小雨」の範囲内です。



ポイント

- ▶ 令和8年1月～3月期の総合業況DIは▲19と、前期▲22から3ポイントの改善であった。製造業（前期▲28・今期▲23）と建設業（前期▲19・今期▲14）は5ポイントの改善、小売業・卸売業（前期▲27・今期▲26）、飲食業・サービス業（前期▲18・今期▲17）は前期とほぼ同様であった。全ての業種が「小雨」に集まり業種間の差は小さい。
- ▶ コメントによると、食品、光熱費などのコスト高や人手不足は依然として厳しい状況が続いている。製造業や流通業では国際環境の影響を受け、輸出関連の売上が停滞しているようである。建設業は受注が好調の声もちらほら見られる。飲食業・サービス業は売上DIはプラスになったが、物価高により業況全般としては厳しい声が多い。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲17と、今期▲19から2ポイントと小幅の改善の見込み。今期足踏みだった小売業・卸売業（今期▲26・次期▲19）と飲食業・サービス業（今期▲17・次期▲12）は改善が進む見込み。製造業（今期▲23・次期▲23）は足踏み、建設業（今期▲14・次期▲17）はやや悪化の予想である。



各業界から寄せられたコメント

編集・デザイン・印刷

AIの普及に伴うデザイン等の内製化とネット印刷の多様化が進む。

通信設備

必要なものへの投資には、顧客も積極性が出てきている。

オフィス家具

大手へのサイバー攻撃による影響で売上が大きく減少し、顧客離れも感じている。

電機管理保安業務

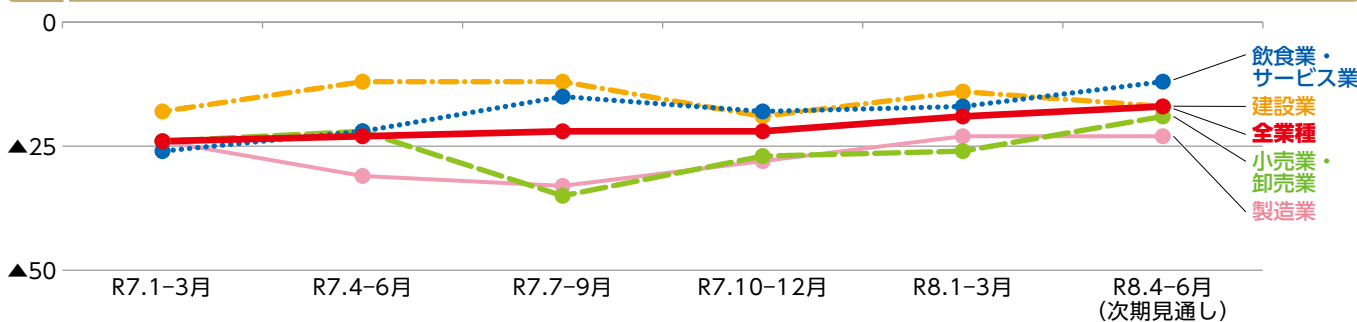
諸経費は増加しているが、販売単価も上昇しており、好循環と考えます。

ゴルフ関連サービス

猛暑や土日の降雨の影響により減収となった。また、冬期は雨が降らず芝に影響を及ぼしておりメンテナンスが難しい状況となっている。



業況別（総合判断）DI値の推移



	前年同期概況 (R7.1-3)	前々々期概況 (R7.4-6)	前々期概況 (R7.7-9)	前期概況 (R7.10-12)	今期概況 (R8.1-3)	次期見通し (R8.4-6)
製造業	▲24 ☁️	▲31 ☔️	▲33 ☔️	▲28 ☁️	▲23 ☁️	▲23 ☁️
建設業	▲18 ☁️	▲12 ☁️	▲12 ☁️	▲19 ☁️	▲14 ☁️	▲17 ☁️
小売業 卸売業	▲24 ☁️	▲22 ☁️	▲35 ☔️	▲27 ☁️	▲26 ☁️	▲19 ☁️
飲食業 サービス業	▲26 ☁️	▲22 ☁️	▲15 ☁️	▲18 ☁️	▲17 ☁️	▲12 ☁️
全業種 (総合)	▲24 ☁️	▲23 ☁️	▲22 ☁️	▲22 ☁️	▲19 ☁️	▲17 ☁️

業況天気図例	快晴	晴れ	薄曇り	小雨	雨
	DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～▲10	DI値 ▲11～▲30	DI値 ▲31以上

<<景気観測調査>>
前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値（DI値）を用いる。

調査期間：令和8年1月1日～3月31日
回答率：15.2% 回答者数：563件
調査対象：当所会員事業所3,708事業所

中小企業診断士による分析結果およびご活用いただける支援策等をまとめた詳細データは、当所ホームページに掲載しています。
<https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki>
データの郵送をご希望される方は、総務課（☎042-753-8131）までご連絡をお願いいたします。

